

研究主題「地域とつながり、信頼される学校づくりを図るための教育課程の在り方」

東諸県支会

○ 協議の柱

地域とつながり、信頼される学校づくりを図るための教育課程の編成・実施・評価等の工夫を行うために、教頭としての役割はどうあればよいか。

1 主題設定の理由

特色ある学校教育活動を進めていくためには、各学校において創意工夫を生かした教育課程を編成・実施・評価・改善することが必要である。新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現や、カリキュラム・マネジメントを軸とした学校改善が求められている。

東諸県郡（国富町・綾町）は、学校と地域とのつながりが深く、以前から各学校で地域と連携した教育活動を積極的に展開している。

そこで、本研究では、地域とつながり、信頼される学校づくりを図るための教育課程の編成・実施・評価等の工夫を行う上での教頭としての役割を整理し、明確にしたいと考え、本主題を設定した。

2 研究のねらい

「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、カリキュラム・マネジメントを軸として、信頼される学校づくりを図るための教頭の役割について考察する。

3 研究の概要と成果

各学校の取組とその成果、教頭としての役割は次のとおりである。

(1) 本庄小学校

① 取組とその成果

生活科や総合的な学習の時間において地域の方と連携した活動を多く設定した年間計画を作成し、児童に地域（物・人・歴史等）の理解を推進している。関係機関や地域の方と連携して計画を進めることで、児童に身に付けさせたい能力の共通理解を図る。町主催の取組に参加することも多く、地域社会との密接な学習が展開できている。

② 教頭としての役割

学校評議員会での意見聴収や関係諸機関との窓口として、学校に期待されていることを職員に伝えている。また、カリキュラム全体を把握し、活動と教育目標との関連を明らかにでき

るよう助言している。

(2) 森永小学校

① 取組とその成果

運動会をはじめ、5年生の米づくり、二番穂刈り、森っ子フェスタなど、地域とのつながりが深い行事を数多く行っている。地域・家庭と学校が相互に理解を深め、同じ方向を向いて、ともに児童を育てようとする意識につながっている。

② 教頭としての役割

担当職員への支援やアドバイスを行うとともに、学校便りやPTAの会合等で地域や家庭への周知を行っている。

地域と学校とをつなぐパイプ役として、より意義のあるコーディネートを継続的に行っていきたい。

(3) 八代小学校

① 取組とその成果

生きる力を育む評価の3観点を縦軸に、知・徳・体の3つ側面を横軸に据え、児童の実態から考える「育成を目指したい資質・能力」のキーワード化を目指した。本校の教育目標との比較・見直しを行い、教育課程方針の検討を重ねている。

② 教頭としての役割

育てたい資質・能力をキーワードとして焦点化するための視点や捉え方を示唆したり、意見集約したりしている。今後は「育成を目指したい資質・能力」を保護者や地域への啓発に努めたい。

(4) 木脇小学校

① 取組とその成果

総合的な学習の時間を中心として、地域との協働活動を行っている。学校支援コーディネーターと連携して、活動内容等を協議した。地域の人材を活用し、各学年の活動に指導者として参加いただくよう計画を立てた。活動を通して、地域を愛する人々の思いや願いにふれ、地域を大切にしようとする気持ちが少しずつ芽生えてきている。

② 教頭としての役割

学校経営ビジョンに基づく学校全体の方向性をPTA総会等で地域や保護者に提示し、共通理解のもと教育活動ができる体制づくりを行った。また、PTAの役員会や学校

地域支援コーディネーターとの打合せの中で、協働活動を推進する仲介を行い、円滑な運営ができるように進めた。

学校通信等で地域連携の活動の情報を積極的に発信し、活動への理解を求めるとともに目的の共有ができるよう努めている。



(5) 綾小学校

① 取組とその成果

研究主題を「地域とつながり、地域を考え、地域への思いを深める児童の育成」として取り組んでいる。総合的な学習の年間指導計画を作成し、具体的な学習を進めている。指導者も児童も綾の魅力をたくさん見つけ、学年の実態に応じて児童が身に付けさせる力の精選を行い、カリキュラムの策定に取り組んでいる。

② 教頭としての役割

綾町の「人、もの、こと」を効果的に教育活動に取り入れていくために、地域の方々と職員との連絡・調整役として積極的に関わるようにしている。



(6) 本庄中学校

① 取組とその成果

一人一台タブレットの効果的な活用や、アナログとデジタルの良さをベストミックスさせた授業改善に取り組んでいる。教科横断的な視点を取り入れたビブリオバトルを行ったり、学級担任と栄養教諭で食育の授業をしたり、授業にICT推進教員が入るなど、教科の枠を超えた授業を行った。また、キャリア教育の一環として、本や新聞等を媒体に家族で生き方を語り合う時間を設定できた。

② 教頭としての役割

職員向け通信や学校だよりを使い、職員や保護者への啓発や取組についての情報発信を行っている。また、PTA組織を活用したメディアコントロールの取組を始めた。

(7) 八代中学校

① 取組とその成果

総合的な学習の時間を中心に、地域との協働活動を行っている。第1学年は「食」、第2学年は「職業」、第3学年は「福祉」について探究的な学習を行っている。特に、職場体験学習では、体験を通じて地域をどのように活性化させているか発見することで、地域

の課題を考えようとする姿がみられる。

② 教頭としての役割

学校の教育方針をPTA総会等で地域や保護者に提示し、共通理解のもと教育活動ができる体制づくりを行っている。

また、家庭教育学級や学校評議員会等とおして地域の方々や保護者と職員との連絡・調整を行っている。

(8) 木脇中学校

① 取組とその成果

各教科の授業や行事等の改善を図るため、「身に付けさせたい力」を設定した。また、共通理解・共通実践しやすくするため、「6つのキーワード」を示し、全職員が同じ方向を目指して生徒の指導・支援を行うようにしている。

② 教頭としての役割

「6つのキーワード」をもとに授業へのアドバイスや行事等の企画の検討を行った。また、保護者や地域の方々にも、通信等を通じて本校の取組を紹介し、教育活動への理解を深めていただくよう努めた。

(9) 綾中学校

① 取組とその成果

「ふるさと・キャリア」を中心とした持続可能な社会づくりの担い手を育む教育に取り組み、身のまわりの事象から世界に目を向け動き出すことを目標としている。

1年生は「自然への探究」、2年生は「人（町）への探究」、3年生は「自分への探究」と題し、探究的な学習を行っている。様々な分野の専門家や綾町職員、町内の企業や事業所等の支援を受けながら学びを深めている。

生徒会活動では、自分たちの活動がSDGsの何に関係するのかを考え、身近な生活と世界をつなげている。

② 教頭としての役割

授業へのアドバイスや行事等の企画の検討をする際に、企業や事業所に対し、活動の意義を丁寧に伝えている。

また、保護者や地域の方々にも、作成したエコバッグを配付するなど学校の活動の可視化についても努めている。

4 今後の課題

カリキュラム・マネジメントを軸として信頼される学校づくりを図るための教育課程の編成・実施・評価等の工夫を行った。今後、さらに教頭としてリーダーシップを発揮しながら役割体制を整備・改善したい。